

かね岩海苔 高台工場起工

地震に備え11月にも稼働

南国市

高知みなみ流通団地にある食用のり製造の「かね岩海苔」(岩崎定之社長)が12日、団地内の高台に整備する新工場の起工式を南国市十市の建設地で行った。南海トラフ巨大地震に備えたりスク分散で、11月からの稼働を見込む。

段上で海拔26㍎の約5100平方㍎区画に變更した。

投資額約6億5千万円の新工場は鉄骨2階建て。製造ラインを5本敷けるが、当初は3ラインで稼働する見通し。新工場に合わせ、25人を新規雇用する。1985年創業の同社は、有明産のりに味付け加工などを行い、県内外に販売。従業員67人。2013年3月期の売上高は約16億5千万円。

岩崎社長は「震災以降、リスク分散がずつと頭にあり、順調に売上高が伸びている今がもうひと勝負の時だと考えた。新工場で売上高20億円を目指す」と述べた。

同社は新工場区画を県から年額約470万円、20年間借りる。当初予定地だった本社北側は一部を駐車場として使っている。

高知みなみ流通団地には昨年、アサヒ物流(高知市仁井田)も移

かね岩海苔の新工場のCG図(同社提供)



転を表明。高台は全てを残すのみになった。

埋まり、下段の1区画(大山哲也)